

会 議 録

- 1 会 議 名 北九州市公立夜間中学校を考える会議
- 2 会 議 種 別 市政運営上会合
- 3 議 題 (1) 設置に至る経緯について
(2) 校舎位置等について
(3) 機能について
- 4 開 催 日 時 令和4年8月22日(月)
14時00分 ~ 15時30分
- 5 開 催 場 所 北九州市男女共同参画センター ムーブ
5階大セミナールーム
(北九州市小倉北区大手町11-4)
- 6 出 席 者 構成員10名
総務部長、企画調整課長、事務局

7 会 議 経 過

(1) 設置に至る経緯について

座長 議事に入る前に、先ほど確認していただいた第2回目の議事録、内容いかがでしょうか。よろしいですか。

今回の議事録についても、前回同様での確認と、構成員A・Bという形で、名前を伏せる形で公開したいと思いますが、よろしいでしょうか。

それでは、議事に入る前に、1点確認です。

今回の会議で、何を決めるかですが、基本計画素案を検討していき、この会議で、北九州市立夜間中学校の使用校舎であったり、あるべき機能を定めるというわけではなくて、あくまでも北九州市の教育委員会が策定する基本計画に、何を盛り込んでいくかという内容について、ここで議論する。そういった理解よろしいでしょうか。

企画調整課長 今、座長ご指摘の通りで、本会議でいただきましたご意見を踏まえまして、北九州市教育委員会が最終的に決定をするという位置づけでございます。

座長 ありがとうございます。

ただいま説明がありましたように、この会議で基本計画自体を策定するというわけではなくて、ここでの議論を踏まえて、北九州市教育委員会が基本計画を策定することになります。

構成員のみなさまにおかれましては、その点をご承知おきください。

それでは議事に入ります。議事 1、設置に至る経緯について事務局より説明をお願いします。

浜崎企画調整課長より説明【資料 1（1 ページから 3 ページ）】

座長 ありがとうございます。ただいまの事務局の説明で、ご質問や不足事項・情報共有などがあれば、お願いします。
よろしいですか。

(2) 校舎位置等について

座長 では、続きまして議事 2、校舎位置等について事務局から説明をお願いします。

浜崎企画調整課長より説明【資料 1（4 ページから 11 ページ）】

座長 ありがとうございます。

第 2 回の会議で学校校舎を第一にということを提案いただきました。事務局から、南小倉小学校、飛幡中学校、菊陵中学校の 3 校の候補を示していただきました。地図や写真付でわかりやすい資料を作っていました。

この 3 校を中心に、この会議で北九州市の公立夜間中学校の立地は、このような立地にあると良いというような方向性を提案したいと思います。ではまず、自主夜間中学の皆さん、いかがでしょうか。

A 構成員 中学校の様子とか学校の位置とかよくわかりませんでしたので、中学校の先生にお尋ねしました。

そうしたら、飛幡中学校はバリアフリーとかあって、いいということでした。

菊陵中学校は、学校が小規模だから、夜間中学校が入っても昼間の

先生との意思疎通とかが上手くできるのではないかということをおっしゃっていました。連携をすればしたら、小さい学校のほうがいいのではないのでしょうか。

しかし教室が狭いですよね。一つの教室を分けるとしたら、7×4メートルでは30名は入らない。そこらへんも大きい教室が使えるといいと思います。

交通の便は、菊陵中学校が一番良いと思います。

企画調整課長

今、教室が小さいのではないかとのご指摘をいただきました。

確かにこの資料の中に、7×4メートルという部屋の設計の案を出しております。いまのところ、教室も4つまでは7×7メートルで用意できる見込みもございます。ただ、実際に30人規模で一斉に授業するというのは、夜間中学の中ではなかなか想定しにくい。教室を半分に分けた形で、少し横長の教室にはなりますが、生徒を多くても15人くらい、できれば10人以下の小規模なタイプで使いたいというのがいいかと思っております。小さな部屋も用意したいということで7×4メートルも提示させていただいております。

今、コンピューター室といった、9×7メートルみたいな大きな部屋もございます。それを2つに分けたり、3つに分けたりということも考えておりますので、そこはどの校舎を使うか決まり次第、詳細を設計をした上で、何のための部屋なのかということをお明らかにして、大きな部屋をいくつか、小さな部屋をいくつか作るという設計になる可能性はあると思っております。そのため、すべての部屋が7×4メートルではないということでございます。

座長

ありがとうございました。東京の夜間中学も、あえて狭い教室で授業をやっていますね。少人数制の授業の場合は、広い教室の前方部だけを使うよりも、狭い教室の方が一体感を得やすいですし、声の通りが良いという良さもあると思います。

B 構成員

城南中学校夜間学級の運営委員と、意見交換をした結果を基に報告させていただきます。

南小倉小学校は、私の子供が通っておりましたので、私も何度も学校に行きましたが、道から校舎まで上がるのにかなり坂が長いです。

しかも、夜間だったら、特に帰りは下りになりますから、危険じゃないかと思っております。

駅から4分というのは、健康な人が、ホームの出口から出て、陸橋を渡っていったら4分で行けるんです。でも、正面の改札をでて、地下道を通って、ぐるっと行けば10分くらいはかかります。

ここは小学校ということで、はずしてもらったらいけないかと

いうことでした。

それから、あとの二つの中学校については、どちらの中学校でも、駅からの時間は変わらないけれども、改修工事をしているのであれば、その中に、エレベーター設置を入れてもらえれば、菊陵中学校が一番いいのではないかと。ただ八幡の方から見たら、ちょっと東の端になるのではないかと意見も。八幡と小倉に自主夜間中学校があるから、中間の飛幡中学校もいいかなと。

どちらがいいかということは、意見は出ませんでした。ただ、南小倉小学校はちょっと無理だろうということでした。

菊陵中学校か飛幡中学校のどちらかの中学校ということにしていたら、いいのではないかと思います。

座長 ありがとうございます。

C 構成員 私は企救中学校に通う予定だったんです。家庭の事情で行けなかったんです。でも今は現役の夜間中学生として、頑張っております。とても楽しいです。

座長 ありがとうございます。

それでは他の構成員さんもぜひご発言いただきたいと思います。いかがでしょうか。

E 構成員 南小倉小学校ですが、バリアフリーになってないということ、それから歩道橋を渡らなければならない、それから校舎までに坂道を上がらなければならないということで、体の不自由な方にはきついんじゃないかなと思っております。

座長 ありがとうございます。

D 構成員 さっきもお話がありましたように、市内各地から通われてくることを考えると、飛幡中学校は戸畑区にありますので、そういう意味ではいいんじゃないかなと思います。本校のフリースクールが戸畑駅前にございまして、実際、八幡西区から、小倉南区から、あと若松区からですね。戸畑駅はバスやアクセスがいいので、市内各地から通えるようになっていますので、そういう意味では交通アクセスが戸畑はいいかなと思います。

やはりバリアフリーに関しては、南小倉小学校はいろんな方が来られることを想定すると難しいのかなと思いました。

座長 ありがとうございます。

市内各地からのアクセスを考えると飛幡中学校がいいんじゃないでしょうかということ、南小倉小学校は立地的に、ちょっと難しいんじゃないかということでした。

H 構成員 私は仕事上で小学校を回った経験がないので、全く良し悪しが言え

ませんが、中学校ではそれぞれ校舎を回って学校の様子を見学する仕事をしていました。この飛幡中学校、菊陵中学校を比較してみると、飛幡中学校は校舎の新しい試みをしているんです。

廊下がものすごく幅が広くて余裕があるし、校舎の中に簡単なホールのような空間があるので、ちょっと集会ができるような、遊びのスペースが飛幡中学校にはあるんです。そういう点は魅力的だなと思っています。

それから多目的トイレを比較してみると、南小倉小学校、菊陵中学校は体育館にしかないということなので、多目的トイレを利用するとしたら、少し離れたところまで歩いて行かないといけないところが、こういうトイレを利用したい、ニーズのある方にとっては、不便かなと思います。

ただ、菊陵中学校に大規模改修整備が入るということで、もし菊陵中学校に入るとしたらどれぐらいの夜間中学に対する配慮をしていただけかにもよるのですが、その意見が反映されるとすれば、今から大規模改修を控えてるという菊陵中学校にもメリットがあるなと感じています。

座長 現場目線で具体的な校舎のお話もしていただいて、ありがとうございます。他にいかがでしょうか。

I 構成員 基本的にはお年寄りが多いでしょうから、やっぱり通う人の気持ちになるのが、一番だと思うんですね。

南小倉小学校は私、通ってました。校歌の中にも坂が出てくるくらいがありますから、やっぱり年齢が高い人は、なかなか難しいかな。

3つ見たときにやっぱり飛幡中学校は綺麗ですね。それに広いので、私も皆さんが通いやすいというか、バリアフリーもあって、楽なんじゃないかと思います。

F 構成員 私は飛幡中学校のことをあまり知らないのですが、位置的に市の真ん中にあるというのはとても魅力的だなと。みなさんのお話を聞いていても「新しい」とか「広い」とか、いろんな点で恵まれている環境なのかなと思いました。

私ができるのは菊陵中学校、南小倉小学校なんですけど、南小倉小学校は、バリアフリーの面で、坂道が多いなどということを考えると、それから、暗い中で通うとしたらと思うと、飛幡中学校か菊陵中学校がいいのかなと思っていたところです。

私の専門分野の外国人に関しては、菊陵中学校が帰国・外国人児童生徒教育のセンター校になっているので、外国人の方たちにも少し知られていて、また校区を超えて通学されている外国人の生徒さんたち

がいることから、比較的通いやすいのかなと思っています。

座長

ありがとうございます。

G 構成員

とてもわかりやすい資料を作っていただきありがとうございます。

1 点気になったのが、他の構成員の方の話にもありましたように、菊陵中学校の大規模改修ですね。どの規模で大規模改修が行われるのかっていうのが気になっています。

もし例えば、足の悪い方とかが来られて、エレベーターが要るようになった場合に、菊陵中学校にはつけることができるけど、飛幡中学校にはつけることができないとかってなったら、また全部変わってくる話なのかなあと考えてですね、どれくらいの改修予定になっているのかをまず聞いても大丈夫なんではないでしょうか。

企画調整課長

私から、今お聞きしてる範囲でお答えしたいと思います。

菊陵中学校の大規模改修については、夜間中学を全く想定していない状態で設計をしております。2年前に改修工事の規模が決まりまして、各階に多目的トイレを作るところは設計に含まれていますが、今の設計のままでいくと空き教室として、職員室がある管理棟の方の3階4階にまとまる見込みであるということになっております。そうするとやはりエレベーターつけないといけないという話になるのですが、エレベーターをつけるだけで大規模改修の半分ぐらいの予算は必要だということで、かなり大きな予算が必要だということになります。

そこは飛幡中学校の場合も同じでございます、改修がない状態で、外付けでエレベーターを付けるということになろうかと思えます。

そこで、低層階に教室を持ってこれないかというのを、これから検討する段階でございます。

今のところ菊陵中学校の改修については、夜間中学を想定していない設計になっておりますので、ある程度制限がかかってくるというか、今の生徒さんたちが生活しやすくなるような改修工事を行っているということでもあります。

G 構成員

ありがとうございます。

北九州の真ん中にある飛幡中学校か、立地・アクセスがよい菊陵中学校かになるだろうなと思っていて、これは地域の通いたい方のニーズによって変わってくるのかなという気がしました。

座長

ありがとうございました。補足説明がありましたらお願いします。

企画調整課長

G 構成員からご指摘ありました、どこにお住まいの方が多くのか、ということについてです。

お手元に A3 の国勢調査の結果がございます。北九州市内の区ごとに、未就学者、それから小学校卒の方がどこにお住まいかということ

をグラフで表しています。これを見ると、やはり小倉北区、南区が多くて、もうひとつが八幡西区に多いという状況でございます。

先ほどから何度か出ておりますが、自主夜間中学が小倉南区の城南と八幡西区の穴生にあるということを考えますと、その間のどこかになろうかと思えます。戸畑というのは確かにご指摘の通り、非常にバランスのいい場所でございますし、市内全域からの利便性はいいなと考えております。一方で、小倉駅というところも、ランドマークとして非常にわかりやすいということもあります。これはまだ先になりますが、北九州市以外の自治体、例えば下関市とか行橋市、苅田町、遠賀町、中間市、京築地域などから通われることを考えると、小倉駅というメリットも捨てがたいとわれわれとしては悩んでいるところでございます。

座長

ありがとうございました。

今までの議論、ご意見を整理させていただくと、まず南小倉小学校は外していいんじゃないかということによろしいですか。

では菊陵中学校か飛幡中学校かということで、ご意見を確認していきます。

まず、飛幡中学校はやはりアクセスが良いということ、また、校舎が新しいということですね。ホールがあったり、廊下の幅が広がったり、多目的トイレが校舎内にすでにあたり、ということでした。

一方で、菊陵中学校の方では、帰国・外国人児童生徒教育のセンター校なので、外国にルーツのあるご家庭に関しては接続もいいんではないかということでした。また、立地ですね。小倉駅から徒歩で行ける、あとはバスセンターも近い。バスセンターは門司や八幡からもありますよね？

企画調整課長

基本的に砂津のバスセンターは終着駅でかつ出発駅になっております。門司方面のバスもほとんど砂津には停まります。それから、八幡西区方面から来るバスも、小倉駅を通り過ぎて、砂津に到着ということでございます。

座長

菊陵中学校は、バスのターミナルが近くにあるということで利便性が良いということでした。飛幡中学校と二校に絞って、どちらかに決める必要はないんですけど、もう少し、ご意見をいただければと思います。いかがでしょうか。

A 構成員

どちらの中学校にしてもエレベーターがないと。お年を召した方、うちに来ている方は週に5回は通えないから残られると思いますけど、足が不自由っていう方がいたら、エレベーターは必須のものだと思います。どちらにしても付けていただけたらいいなと思います。

座長 夜間中学部分を1階にまとめていただくか、エレベーターですね。他にいかがでしょうか。

B 構成員 同じ意見ですけど、エレベーターについては、城南中学校は大規模改修のときに、エレベーターを付けてありますので、「夜間学級」の生徒さんたちも文化祭などで、美術教室や音楽教室に行くときには、エレベーターを使わせてもらっています。できればじゃなくて、必ず、設置してほしいと思います。夜間中学の場合には、1階だけに教室を作っても、特別教室に行くときには移動しなくてはなりませんから。今から変更が間に合うのであれば、菊陵中学校の大規模改修の中にぜひ入れていただければと思います。

座長 ありがとうございます。エレベーターもしくは1階への教室の配置というのは、必ずお願いしたいというご意見です。合理的配慮の観点でも、エレベーターは学校や公共施設の標準装備になっていると思うので。ぜひ検討いただきたいと思います。

自主夜間中学のバランスを考えたら、戸畑が非常にいいなと思います。ただ門司からバスで来られることを考えると、確かに小倉駅ですよ。新幹線が停まるっていうのも、大きな駅で魅力かなと思います。モノレール発着もありますので。

どうでしょうか。特段ひとつに決めなくてはいけないというわけではないので、この点だけははずしたくないところを、提案という形にまとめたいと思います。よろしいですか。

では、南小倉小学校に関しては候補から外す、菊陵中学校か、飛幡中学校。いずれかをお願いしたい。

その場合にはエレベーターの設置、もしくは1階への教室の配置に関しては、ぜひ検討いただきたい。以上を意見の集約としてよろしいですか。

ありがとうございます。

(3) 機能について

座長 それでは続きまして議事3、機能について議論していきたいと思えます。

いくつかの論点にわけて、事務局から説明をお願いします。

浜崎企画調整課長より説明【資料1（12ページから13ページ）】

座長 ありがとうございます。夜間中学の設置形態について、単独校、分

校、夜間学級の3つがあるという説明をいただきました。どの形態がいいかという点について、ご意見をいただければと思います。

H 構成員

ずっと心配していたのは、教員定数のことです。どれぐらいの教員が、夜間中学に配置してもらえるものなのか、とても心配していました。今のご説明を聞くと単独校であれば、1つの学校として定員がいただけるということなので、これはぜひ単独校がいいなと思います。

どの生徒さんにも手厚い指導ができるということがありますので、ぜひ単独校がいいなと思います。

座長

現場のご意見ありがとうございます。

私もできれば単独校がいいなと思います。やっぱり校長先生がいらっしゃるので意思決定がスムーズだし、責任を持った運営ができるじゃないかと思います。

B 構成員

単独校という形をとった場合でも、現在ある公立の中学校に併設というか、一緒の校舎の中で、可能なのですか。

企画調整課長

中学校、もしくは小学校でもいいのですが、同じ校舎の中に夜間中学が併設することは例がございますし、私たちは可能だと思っております。

座長

例えば札幌の星友館中学校は小学校の敷地内にありますね。

ではこちらの会議の決定としては、ぜひ単独校で進めていただきたいことよろしいでしょうか。

G 構成員

単独校をお願いします。

座長

ありがとうございます。

それでは続いて、入学対象や流れ、学校規模や就業年限など、生徒の入学に関する制度内容について説明をお願いいたします。

浜崎企画調整課長より説明【資料1（14ページから16ページ）】

座長

ありがとうございます。ご意見ご質問いかがでしょうか。

福岡市の夜間中学は福岡市在住で、30人くらいでしたけれども、他都市からの受入れをしていくともう少し増えるでしょうね。

B 構成員

開校時は、1年生だけを入れるということでしょうか。この定員30名というのは1クラス30名でしょうか。

企画調整課長

福岡市の夜間中学は30人新入生の入学があったのですが、1年生が26人、これを小学校の学びなおしからと中学校1年生の学びなおしからの2つに分けました。それが1年の1組と2組。あと2年生と3年生が2人ずついらっしゃいました。このように、どういう学びをしてこられたか、どういう学びを希望されているかによっ

て、北九州市でも最初から3学年そろっていてもいいと考えております。入学を希望された方に応じて柔軟に対応したいと思います。ですので、全体の規模として、30人程度と想定しております

座長

ほかにいかがでしょうか。

A 構成員

年齢のことなんですけれども、今、現役の中学生でも起立性調節障害などで朝起きられない方がいます。私が直接聞いたのではないのですが、中学校生活でとても苦しんでいて、高校は通信制を選ばれて行かれた、という話を聞きました。また、香川県の学校が特例校の申請をしていると聞いていますが、北九州でも中学生で朝起きられないけれども、なんとか学べないだろうかといったときには北九州はどういった対応をされているのでしょうか。

企画調整課長

起立性調節障害などで朝起きられないお子さんがいることは承知しております。ただその子が、朝起きられないからと言って、夜に学ばないといけないか、というとそうではないと思っておりますので、夜間中学で受入れるかということ、そこは線を引かせていただきたいと思えます。

香川県三豊市の不登校特例校は4月に認められ、その後入学相談を経て実際に現役の中学生が3人通っておられるそうです。

夜間中学の夜の部の授業で、現役の中学生を受入れているのは、全国でこの1校だけです。そのため、経過を見ていきたいと思っております。

北九州市の場合、朝起きられないお子さんがいらっしゃいますけれども、原則はやはり在籍している学校で先生方が個別に対応していただいて、オンラインの授業とか、不登校等支援センターというのを作りまして、そちらにおいてオンラインで個別に相談を受けるなどの形で対応しております。

不登校は問題行動ではないと捉えておりますし、学校に戻ることがすべてのゴールではないと思っております。社会的な自立の方が優先と思えますので、必ずしも学校に戻さなくてもいいということで、その子に応じたさまざまな学びができるよう、選択肢としては用意しようと思っておりますが、夜間中学でということは一旦置いて考えたいと思えます。

座長

はい。ありがとうございます。いかがでしょうか。

ないようでしたら、私の方から2つお願いがあるんですけど、一つは面談ですね。生徒さんが相談にきたときに、ぜひ丁寧にしていただきたいと思います。

毎日新聞に、ヤングケアラーだった25歳ぐらいの女性が、福岡

市の教育委員会に面談に行ったときに、すごく元気づけられたという記事がありました。「あなたのためにある学校ですよ」って言ってくれて、それから背中を押されたそうです。学べなかった方は、すごく勇気を出して相談に来られます。そうした方の想いを受け止めて、ぜひ励ますような、あたたかい面談を心がけていただければと思います。

2点目は、ぜひ北九州市に在住の方以外も受入れをご検討いただきたいと思います。福岡市はいまのところ市内在住だけなんです。まずは北九州市が範を示していただきたいなど。誰一人取り残さないメッセージを他都市も含めてぜひ示してもらいたい。下関市の方も受け入れると山口県の夜間中学設置のあり方も変わってくると思います。山口市に作るのか、下関市に作るのか。防府市に自主夜間中学もありますので、山口県全体を考えた配置ができるようになる。ですので、なるべく早めに受け入れを表明していただきたいなどと思います。

ほかいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは続きまして、夜間中学校における各種指導や整備に対する支援内容についてご説明をお願いします。

浜崎企画調整課長より説明【資料1（17ページから21ページ）】

- 座長 ありがとうございます。ご質問、ご意見いかがでしょうか。
- 人材ですね。日本語指導に関しては、先生方が主にやられるでしょうけれども、北九州市内には、日本語教師の資格をもっている市民や外国人支援のNPOだったり、日本語教室の方などもあると思います。
- 企画調整課長 外部人材については、当面は学校に配置された先生を中心にと考えておりますが、先ほどお話ししたように、日本語での指導についていけない方も想定されますので、その時に横についてくださる方、その方の母国語でお話ができる方が必要だろうと考えております。どこまでできるのかは正直わかりませんが、そのような方のお手伝いもいただきながら、ということはあるかと思えます。
- あわせて例えば、学生さん、大学生とかのボランティアを募るしくみも作りたいと考えております。
- 座長 学校での学び方自体がわからない方もいらっしゃると思うので、例えば横について教科書今ここ開いてますよ、とかそういったサポートだけでも助かります。専門的ではなくても、横に座ってくれる

方がいてくださると心強いと思います。

スクールソーシャルワーカーと、スクールカウンセラーの配置については、いかがでしょうか。

企画調整課長 話の中には出てきませんでした。福岡市と同じように非常勤にはなると思うのですが、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラーを学校にも籍を置けるようにしたいと考えております。

座長 福岡市の事例で、スクールソーシャルワーカーがグリーンコープからパンと牛乳を無償提供してもらって、数に限りはありますが、自由に生徒さんが食べられるしくみを、給食がない中で早々作られていました。地域とつながった専門家がいたからこそだと思えます。

A 構成員 第2回の会議が終了してスタッフ会議をしたときに、給食が端の方にある。元中学校の教師だった人が、これを真ん中に待ってこないといけない、と。給食が始まって、子ども達が変わったということでした。やっぱり、栄養のあるものを食べられて、元気が出たということでした。絶対これは真ん中に持ってきてくださいと、言われたので、ご検討いただきたいと思います。

座長 私は前の職場があった北海道釧路市で、生活困窮者世帯の中学生の学習支援に関わっていたことがあるんですが、その魅力と強みはおいしい給食、ランチを提供していたことでした。やっぱり一緒に物を食べることですごく関係づくりに影響するんですね。一緒にその場に身を置いて、食べるだけでも、すごく一体感ができたなと感じます。

H 構成員 給食、今おっしゃった、一緒に物を食べ、それによって元気を出すということでは、学校給食ってとても意味のあるものことだと思います。しかし、事務局の説明にもあったように宗教上の理由とか、それからアレルギーとかがあって、全員一律で考えることが難しい側面もあります。今、学校現場ではアレルギーの対応にものすごく気を使っていて、アレルギー事故を防ぐために、事細かなチェックをしているんですね。その辺のことを経て、小学校、中学校給食は提供されているので、安全性をしっかりと担保しながら、みんな楽しい時間が過ごせるというような給食の方向性を探っていく必要があるなと思っています。

座長 ありがとうございます。学校給食の話題がでましたけれど、いかがでしょうか。その他の点でも結構です。

I 構成員 給食であれば、高校の方はどうなんでしょうか。定時の方は。できれば教えて下さい。

E 構成員 米飯でちゃんと出てました。栄養士さんもいて。以前は牛乳とコッペパンだけだったんですが、それでは昼間働いているので栄養が足りないということで、ご飯とおかずになりました。大変健康な生徒が増えたと思います。

座長 ありがとうございます。
給食については、開校時には実施しないけども、議論はぜひきちんと残してほしいということでよろしいですか。

G 構成員 学校給食の議論になりましたけども、やはり多様な生徒さんが増えていることを考えると、何を出すか、何を準備するか、難しいと思うので、生徒さんの状況を見てというのが無難なのかなと議論を聞いていて思いました。

座長 ありがとうございます。他いかがでしょうか。よろしいですか。それでは最後にまとめについて事務局より説明をお願いします。

浜崎企画調整課長より説明【資料1（22ページ）】

座長 H 構成員から教員定員の話がありましたけども、やっぱり、どういった学校ができるか、教育の質は、先生方で決まると思うんですね。ぜひいい人材、熱意と力のある先生が集まってくるような位置付けしていただきたい。あとは、配属された先生方の研修もきちんと仕事の中でできるような、ワークライフバランスを意識しながら楽しく充実した仕事ができるような体制づくりを意識して進めていただければと思います。

企画調整課長 その点について、ご説明させていただきます。

北九州市としては今のところ、お昼からの勤務で、夜の9時半くらいまでという勤務時間で、昼間の方との兼務ではなく、夜間中学専任の先生を配置したいと考えております。ただ科目によって、例えば音楽、図工、家庭科といったところは短時間になりますので、短時間の方の配置になるのか、他の担当との掛け持ちでとか、そういった工夫がでてくるかもしれません。しかしながら、主要5教科の方には専任で昼から夜まで勤務という形で、お仕事をいただこうと考えております。

先生の募集については、われわれの案ではございますけれども、夜間中学はこんな働き方ですよ、こんな学びを求める方がいますよ、ということをお話した上で、夜間中学で教えてみたいという方をできるだけ希望を募って配置ができればと考えております。

単純な異動ではないと考えておりますので、意欲のある方に手を

あげていただきたいと考えております。

座長 定時制高校で働く立場からみて、こういったことはぜひ気を付けてほしいという意見がありますか。

E 構成員 やっぱり昼間の学校とは全然違いますね。様々な経験をされた人が入学してきますね。ただ勉強だけ教えればいいのではなくて、その生徒さんと一緒に生きていくというか、勇気づけるというか、自分が勉強になるというか。そういう先生をぜひ、夜間中学校の先生にさせていただきたいなと思います。

座長 ありがとうございます。

ただいま事務局より、これまでのまとめがございました。いままでの内容や論点に遡ってでも構いません。ご意見ないでしょうか。

ないようですので、最後に今後の進め方について事務局から説明をお願いします。

浜崎企画調整課長より説明【資料1（23ページから24ページ）】

座長 ありがとうございます。

今後の進め方について、ご意見、ご質問はありますでしょうか。よろしいでしょうか。

議事については以上です。

今回の会議で北九州市の公立中学校のあるべき姿について、この会議において、様々な視点でご意見を申し上げて参りました。

今日で一旦この会議は終了となります。この会議の議論をふまえて、これから教育委員会で、基本計画案を策定していくという流れになります。これまでの検討を振り返って、教育委員会から、一言お願いできますでしょうか。

（4）総務部長所感

総務部長 3回にわたりまして、活発なご議論ありがとうございました。

今回の会議で、今座長がおっしゃられたように、基本計画の素案をお示したところでございます。

日頃から学びの場に関わってらっしゃる方々のご意見いただきまして、非常に示唆に富んだ内容のものと思っております。

いただいたご意見のすべてを盛り込むことは、担当課長も申し上げましたけれども、正直すべてを受け入れることができるかはわかりません。

いただいたご意見を踏まえ、内部でいろいろ考えるうえで参考にさせていただきたいと考えております。

今後ですが、先ほどの説明でありましたように、パブリックコメントを実施することになると思います。その際は、関係の方々とかに周知いただくということで、ご協力いただければと思います。

パブリックコメントが出た後は、先ほどの説明の通り、市議会の報告を踏まえて、基本計画の確定ということになります。確定後、令和5年度以降と担当課長も申しましたけれども、開校に向けて校舎の改修をどのようにすべきか、とか、周知にあたってのシンポジウムの開催とか、少しずつですけれども、何ができるかということを考えながら作っていきたいと思っておりますので、重ねてご協力をよろしくお願いしたいと思っております。

座長がおっしゃるように、一応今回が最後ということになりますけれども、私どもといたしましては、いただいたご意見を踏まえまして、よりよい学校ができるよう、基本計画をいいのものにしていきたいと思っておりますので、引き続きお気づきの点がございましたら、遠慮なく事務局におっしゃっていただけたらと思います。

本日はどうもありがとうございました。

座長

ありがとうございました。

8 問い合わせ先

教育委員会総務部企画調整課

電話番号 093-582-2357